

消防団につきましては、平成二十九年度の愛知県消防操法大会の出場に向けて、九月から訓練を実施します。併せて、愛知県消防学校へ3人の団員を派遣し、研修訓練を受けさせます。消防団の役割や行動原則などの専門知識、消防自動車を迅速・的確に運行できる技能を習得し、災害現場において中核的な活動ができる消防団の幹部候補の育成を図ってまいります。

消防団の装備基準の改正に伴い、活動服と安全靴を南海トラフ地震等対策事業費補助金を活用して新基準に対応した装備に更新していきます。

宮城県東松島市への復興支援につきましては、平成二十八年度についても、引き続き1名の職員を継続して派遣すること、支援要請に応えてまいります。

防犯対策としましては、役場と社会教育センターの2か所に、計4台の防犯カメラを新たに設置してまいります。

これにより、平成二十六年、平成二十七年の設置分と合わせて、町内9か所の公共施設に計18台の防犯カメラを設置することとなります。

町営住宅につきましては、引き続き町営住宅長寿命化計画に基づき、2号棟及び集会室棟の屋上防水改修工事を実施してまいります。

民間木造住宅の耐震につきましては、平成十六年度から耐震工事費の補助を

実施しております。これまで、改修に多額の工事費がかかることから、利用が進んでおりませんでした。平成二十八年から耐震改修工事がより利用しやすいよう、耐震工事を2段階に分割できる段階的耐震改修費と寝室など居室のみを改修する耐震シエルトー整備費の補助を新たに実施してまいります。

目標 4 地球にも人にも優しい持続可能なまち

「目標4 地球にも人にも優しい持続可能なまち」です。



公共施設の電力につきましては、本町と小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町の2市3町が共同で、電力使用による二酸化炭素排出量の軽減と電気料金の削減のため、平成二十五年六月から特定規模電気事業者より電力を購入しております。本町では、現在、社会教育センターをはじめ11施設で導入しており、平成二十五年六月から平成二十六年五月までの実績としましては、中部電力と比較しますと、11施設合計で約206万円の削減効果がありました。

電力供給に係る本契約は、平成二十八年五月三十一日までとなっており、当該事業者については、平成二十八年三月末に電気小売り事業から撤退するという報道がなされました。

現在、2市3町で、この対応の協議を行っているところです。三月末までに、ほかの新電力会社か、中部電力と新たな電力供給契約を締結し、業務、行政サービスに影響がないよう、万全を期してまいります。

エネルギーにつきましては、再生可能エネルギーを有効利用し、地球温暖化の防止を促進するため、自ら居住する建物に住宅用太陽光発電システムを設置する場合の費用の一部を引き続き補助いたします。

また、低炭素社会への取組や温室効果ガス削減の取組を推進していくため、

平成二十七年中に見直しをします職員環境保全行動指針に基づき、再生商品や省エネ型製品の利用を率先して行い、日常的経費を削減していきます。そのほか、公用車5台をより燃費の優れた車に更新してまいります。

合併処理浄化槽につきましては、引き続き、下水道事業計画区域外における合併処理浄化槽の設置に対する補助を行うとともに、適正な維持管理を促進し快適な環境保全に努めてまいります。

目標 5 助け合い、支え合う健康であたたかなまち

「目標5 助け合い、支え合う健康であたたかなまち」です。

健康づくりは、日頃からの取組が大切です。

自らの健康づくりの意識付けを支援するとともに、健康的な生活習慣の定着を促進するため、新たに健康マイレージ事業を実施してまいります。健康マイレージ事業では、健診の受診、健康講座などへの参加、運動など、健康につながる取組により一定以上のポイントを獲得された方に、優待カードを交付してまいります。